



みはま歴文だより

Vol.28

令和7年1月15日発行

◇編集・発行◇

美浜町歴史文化館

令和7年 今年もよろしくお願ひします!!

今年度のみはま歴文講座は、「今こそ緋く 故き+新しき若狭路」をテーマに全5回の講座を予定していますが、現在第4回まで終了しました。毎回大変多くの方にお申込みいただき、定員を増やして対応しなければならないほどでした。アンケートでの感想も好評で、講座に対する期待値も非常に高く、ありがたく思うと同時にかすかなプレッシャーも感じるところです(^-^);

また、北前船の日本遺産追加認定をうけ、新聞やテレビの取材を受ける機会も多く、その影響もあってか北前船目当てのお客様のご来館も増えました。現在は日本遺産認定記念展示として「美浜に残る北前船の波跡 その式」を開催しています。他にも町内の主な施設で北前船の模型船などを巡回展示しています。ぜひご見学にお越しください。

みはま歴文講座

9月1日の第1回講座を皮切りに、10月12日に第2回、11月17日に第3回、12月8日に第4回の講座を開講しました。

毎回定員を上回る申し込みがあり、うれしい悲鳴となりました。講師のみなさんにはたいへん熱心にご講演いただき、受講者の方はそのお話に引き込まれていました。何人もの方が質問されるなど、大いに盛り上がりました。

第1回「古代若狭の海辺の景観Ⅱ」
講師 松葉 竜司さん



第2回「古代の若狭・越前と交通」
講師 門井直哉さん



第4回「若狭の王の舞と越前の獅子渡り」
講師 橋本裕之さん



第3回「北前船船主集落を歩く」



日本遺産認定記念展示

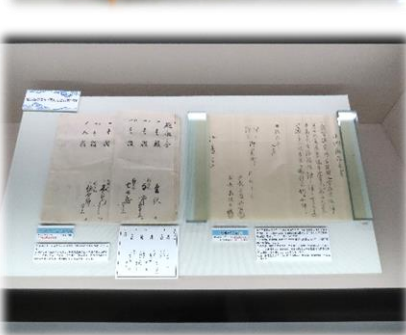
「美浜に残る北前船の波跡 その式」

11月7日から、日本遺産認定記念展示「美浜に残る北前船の波跡 その式」を開催しています。

昨年の第15回企画展に続いて北前船関連展示の第2弾です。日本遺産の構成文化財などを展示しています。

会期は前期11月7日(木)～12月26日(木)。後期1月7日(火)～3月2日(日)です。前期と後期で一部展示を入替えをしていきますので、お見逃しなく!

企画展示



小学生千歯抜き体験

今年も小学 5 年生の稲刈りの授業に合わせて、千歯抜きを使った脱穀の体験をしてもらいました。9 月になっても熱中症アラートがでる日が続き、当日中止になるなどで、実施できたのは 1 校だけでしたが、暑い中元気いっぱい頑張っていました(^0^).

今回は体験用として製作した千歯抜きを使用しました。歯は切れない仕様になっているので、引き抜くのに苦戦をする子もいましたが、おおむね良好で、来年以降も活躍してくれそうです。



中学生が職場体験にやってきました！

11 月 6 日、美浜中学校から 2 年生の男子生徒さん 1 名が職場体験に来てくれました！

毎年恒例の職場体験ですが、今年は 1 日だけの受け入れとなりました。

開館準備から始まり、ちょうど企画展の準備中ということもあり、キャプションを作ってもらったり、展示室での設置作業を手伝ってもらったりと大活躍してくれました。

これを機に地元の歴史や文化財に興味をもってくれたらうれしいですね

(*^^*)



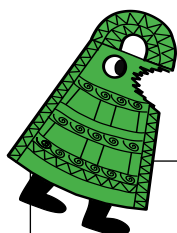
北前船寄港地フォーラム

in 加賀・福井

11 月 23 日（土）に「第 35 回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井」が福井県を会場に開催されました。

（11 月 21、22 日は加賀市会場）能登半島地震からの北陸の復興支援および北陸新幹線の開業を契機として開かれたもので、福井市をはじめ敦賀市、美浜町、小浜市にも多くの関係者が訪れました。

美浜会場で開かれたレセプションでは、巡回展の展示を見ていただいたり、構成文化財の紹介や解説などを行いました。



文化財逍遥

中西家所蔵 船絵馬

久々子の船主中西庄吉が、明治 39 年（1906）に北前船交易から身を引く際に、記念として制作した船絵馬です。描かれている 3 艘の船は庄吉と航海を共にした歴代の愛船「宇波西丸」です。

文明開化により西洋の技術が盛んに取り入れられた明治時代の様相を表すかのように、初めの船は日本の伝統的な船である弁財船（べざいせん）でしたが、大きな船に更新する度に西洋的な帆船に変化した変遷を垣間見ることが出来る大変珍しい画面構成の絵馬と言えます。



Youtube 配信中心！

New

令和 6 年度第 1 回みはま歴史講座「古代若狭の海辺の景観Ⅱ～古代津湊と社寺から考える～」の講演の様子を配信しています。

歴史文化館の SNS

QR コードを読みとって見てね！



行事のお知らせ

■みはま歴史講座

第 5 回「用具から見る人と自然の関り」

2月2日（日）10:00～11:30

徒然雑記

「△140人の壁」

「文化財指定が重荷になる」、これは伝統文化継承の一助になればとの思いから、町指定を地域に打診した際にお聞きした切実な声です。祭礼行事の担い手不足は深刻でその維持すら先が見通せない中、単純に価値付けを喜べない深刻な現状を実感させられました。

町の人口は年平均 140 人ペースで減少しています。空き家増加による史資料の散逸や有形無形の文化財を保存継承する地域の苦悩は殊更です。反面、歴史文化にこそ町への誇りを高め「△140人の壁」をコツコツ打ち破る秘めたる力があるのかもしれない。

◎お問い合わせ

美浜町歴史文化館

〒919-1138

福井県三方郡美浜町河原市 8-8

TEL 0770(32)0027 FAX 0770(32)0615

E-mail bunkazai@town.fukui-mihama.lg.jp

